

林野庁 北海道森林管理局

常呂川森林ふれあい推進センター

令和5年度 年報

オホーツクの「森」から



発行にあたり

オホーツク地方は、世界自然遺産「知床」や網走国定公園等、自然環境に恵まれ貴重な動植物をはぐくむ地域です。

常呂川森林ふれあい推進センターはオホーツク最大の河川である常呂川流域を中心に、国有林野を活用し特定非営利活動法人等（以下 NPO という）と連携して行う森林づくり等と森林環境教育等森林と人とのふれあい活動の推進を位置づけ活動しています。

この度、令和5年度の主な活用内容をまとめましたのでご覧ください。

目次

森林環境教育～森林と人とのふれあい活動の推進～

国有林野を活用し NPO 等と連携して行う森づくり

活動区域「オホーツクの森」

森林環境教育～森林と人とのふれあい活動の推進～

当センターでは、森林と人とのふれあい活動に取り組んでいます。

○森林の魅（味）力を感じよう！

5月28日（日）、コロナや悪天候による中止から4年ぶり5回目となる「イベント森林の魅（味）力を感じよう！」を参加者約20名で行いました。

森林とふれあい森林の恵みを感じ森林と親しむきっかけにとの思いから、山菜の話や山菜採取の現地講習、山菜試食会と五感で感じて楽しんでもらいました。



■どれが一番おいしいの？

○緑と花の市民の会・「緑の募金」街頭キャンペーン

4月20日（木）北見市内で緑と花の市民の会主催の

「緑の募金」街頭キャンペーンが行われ、当センターから2名が参加しました。

同募金は、地域の緑化をはじめ様々な「森林づくり・人づくり」活動の活性化を目指すもので当日は市民と各団体企業など9団体約60名が参加し、JR北見駅広場から商店街にかけて、道行く市民に募金活動を行いました。

道行く人も少なく春風も冷たい中でしたが、そのさみしさを吹き飛ばすように元気な募金活動を行い、快く募金に応じてもらえました。

○網走市主催イベントの支援

6月7日（水）、網走市美岬地区国有林において、自然散策ガイドのレクチャーを行いました。これは、市が主催する春の木育イベントで一般市民を対象に自然散策会を行うことから、当初イベントのガイドを要請されました。



■穴だらけ、誰の仕業だ！

しかしながらその日は当センター主催のイベントと重なったことから、イベントスタッフにガイド役の手ほどきをしてほしいとの依頼となり実施したものです。

当日は、市職員を含めた5名が参加して「森の巨人たち百選」に選ばれた「美岬のヤチダモ」の遊歩道コースにおいて、樹木の見分け方を中心に自然散策を楽しむ方法を学習しました。

○常呂小学校・「ワッカネイチャースクール」

7月3日（月）網走国定公園内のワッカ原生花園において、常呂小学校から依頼を受けて、常呂小学校3年生15名が参加する自然観察会「ワッカネイチャースクール」を行いました。

当日は、自然を観察する楽しさを感じてもらおうと体験型のネイチャーゲーム（サウンドマップ・フィールドビンゴ・カメラゲーム）を行いながら3班に分かれて散策を始めました。

この散策を通じて植物の名前や鳥の鳴き声などオホーツクの豊かな自然を楽しみながら全身で



■ん~~なんか、楽しいね♪

感じ取っているようでした。

子供たちからは、楽しかったゲームや好きになった草花の話、引率された先生たちからも、自然をより深く親しめ楽しく取り組んでいたと感謝いっぱいの気持ちで寄せられました。

そして「また今度家族みんなでワッカに来たい」と自分の楽しい経験を家族と分かち合いたいといった声



も多く届き、先生からは今後ともよろしくお願ひしますといただきました。

○オホーツクの森子ども探検隊

7月29日(土)、北見市端野町国有林内にある「オホーツクの森」において、子供たちが自然



■じゃんけんぽん♪

に親しむイベント「オホーツクの森子ども探検隊」を森林ボランティア「オホーツクの会」との共催で実施しました。

当日は、一般公募により北見市内の小学校から3年生を中心に17名が参加。3班に分かれた子

供たちは、隊長役に扮したセンター所長からオホーツクの森探検の指令を受けて、森



■みんな真剣だ～

の中にある五つの謎を解きながらゴールを目指します。

もちろん森の中には番人があちらこちらに、安全に探検ができるよう目を光らせ時にはサポートします。

子どもたちは探検ノートを手にもつて五つのネイチャーゲームをしながら、歩きながら、ハンモックやロープ渡



■ひとやすみ～休み

りをしながら自然の豊かさを五感で感じ、オホーツクの森では歓喜の声があちらこちらにこだましていました。

午後からは、思い思いの風景を小箱に詰め込んだミニミニジオラマの作成です。お昼を過ぎて外



■集中！熱中！ジオラマ！

の気温もぐんぐん上がり普段は涼しい森の家もこの日ばかりはお手上げ、作成も早々と断念し北見事務所へ場所移動。こまめな水分補給をしては作成に集中し汗をふきふき完成です。

お迎えの親御さんの顔を見たときに話があふれています。

○山の日記念「藻琴山森林散策会」・8月26日
～熱中症警戒アラート発出を受け中止としました。

○森林へおいでよ！パネル展

9月1日（金）～10日（日）、北見市緑のセンターにおいて森林ボランティア「オホーツクの会」との共催で、オホーツク地域の森林の魅力を伝える「森のパネル展」を開催しました。



■寄ってらっしゃい見てらっしゃい

オホーツクの森に咲く花や野生動物のほか、当センターの活動内容をパネルにして展示しました。

9日と10日の二日間は、木の実や小枝を使った木工クラフトコーナーを設置しました。来場された方々は、松ぼっくりや小枝などを組み合わせ、思い思いの作品を作り上げ、自然や木のぬくもりを感じていただきました。

○網走市主催イベントの支援

10月15日（日）、秋の木育イベントで自然散策ガイドと木工クラフト指導の依頼を受け実施しました。当日は、市職員を含め十数名が参加して「森の巨人たち百選」に選ばれた「美岬のヤチダモ」の春と同じ遊歩道コースにおいて、春とは違った風景や秋の味覚（山ぶどう・コクワなど）を楽しみ、その後市水産化学センターに場所を移し、いろいろな松ぼっくり・樹皮・小枝などを活用し思い思いに木工クラフトを体験しました。

子供たちの想像力には毎度のことながらうならせられます。

春のイベント支援時もそうでしたが、後日網走市よりイベントが盛況に終わったこととお礼の言葉をいただきました。



■美岬のヤチダモの前で

○オホーツク総合振興局・木育推進取り組み支援

10月18日(水)、オホーツク振興局から協力依頼を受けて、日本体育大学附属高等支援学校の1年生27名を対象とした「フィールド学習」をサポートしました。



■絶景かな～

午前中は、津別町道有林「オホーツクおとの森」において、オホーツク総合振興局林務課や指導林家の皆さんと連携して、生徒たちに林業体験(枝打ち作業)の指導を行いました。



午後からは、チミケップ湖周辺の道有林に移動して、往復約2kmの見晴らし台コースを散策して樹木観察のガイドを行いました。

○森林ボランティア・オホーツクの会支援活動

10月14日(土)、「オホーツクの会」の秋の森林散策会が阿寒湖畔滝口自然探索路で行われサポーターとしてきました。

当日は10月とは思えない暖かさの中、ゆっくりのんびりの散策会にはとてもいい日和となりました。

滝口自然探索路はスタート直後はアップダウンが続き、そのあとはゆったりした遊歩道で、時折湖岸から望む雄阿寒岳や対岸・中の島の紅葉、最後に「ぽっこぽっこ煮え立つボッケ」を目の当たりにし、阿寒の自然の風景や神秘に触れ存分に楽しむことができました。



■おっ、上手に撮れたね

10月28日(土)、北見市端野町「オホーツクの森」で「オホーツクの会」の炭づくり&色いろ食べ隊をサポートしてきました。



■どちらも上手に焼けました



当日は少し天気が悪い中22名が参加して、それぞれが持ち寄った松ぼっくりやハスの実やかぼちゃなど飾り炭にしたいものをスチール缶に入れて薪ストーブで過熱します。

炭焼きが完成するまでは

展望台で森林散策を楽しみ、会員が腕を振るった豚汁などを味わいながら年内最後の会のイベント

トを楽しみました。

上記以外にも

R5年7月2日夏の森林散策会（チミックアップ湖畔）

R6年3月2日冬の森林散策会（和琴半島）

をサポートしました。



■チミックアップ湖畔・夏の森林散策会より

国有林野を活用し NPO 等と連携して行う森づくり

○自然再生モデル事業企画運営協議会

自然再生モデル事業企画運営協議会は、平成17年10月に発足しオホーツクの森内「自然再生モデル林」における森林づくりの活動や今後の森林の取り扱いを検討しています。

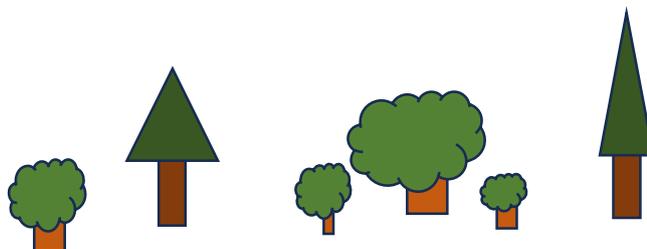
今年度の企画運営協議会は事務局である当センターの実行体制がなかなか整わず令和6年4月に書面会議を行いました。

○野生生物自動撮影調査

「自然再生モデル林」において野生生物の生息動向を確認するため計画されていましたが、実行体制が整わず休止となりました。

○第1回常呂川森林づくり塾・6月4日

～悪天候のため中止としました。



○オホーツクの森づくり



■おっつと、うまいこと刺され

トロープ人工林の一部に樹種転換エリアを設定し、カミネコン植樹した苗木の下刈作業と今後の経過をわかりやすくするための標示作業を行いました。その後はオホーツクの森の展望台から十字園までの遊歩道の森林散策を楽しみました。

6月25日(日)、北見市端野町「オホーツクの森」において、北見地区土木協会8名を含め総勢20名の参加により「オホーツクの森林づくり」を開催しました。

この取り組みは森林に対する理解を深めることを目的として、多様な樹種が混在してであろう100年前の森林を目指して、ス



■さて、ど〜こだ

○第2回常呂川森林づくり塾

9月24日(日)、北見市端野町「オホーツクの森」において8名の参加により「常呂川森林づくり塾」を開催しました。

このイベントは、林業体験を通じて森林の持つ役割を理解していただき、森づくりに携わるボランティアの輪を広げることを目的として年2回開催しています。

前中はカミネコン植樹個所の捕植作業を行い、午後からは富里森林公園へ移動し、ダム周辺を散策しながら仁頃山とその周辺のササの一斉開花とササ枯を観察しました。



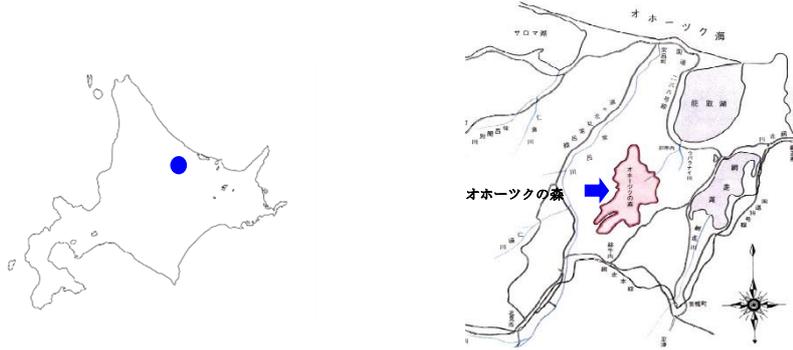
■ササや木の根っこだらけでゆるくない

ながら仁頃山とその周辺のササの一斉開花とササ枯を観察しました。



■架け替え完了： もり育にて

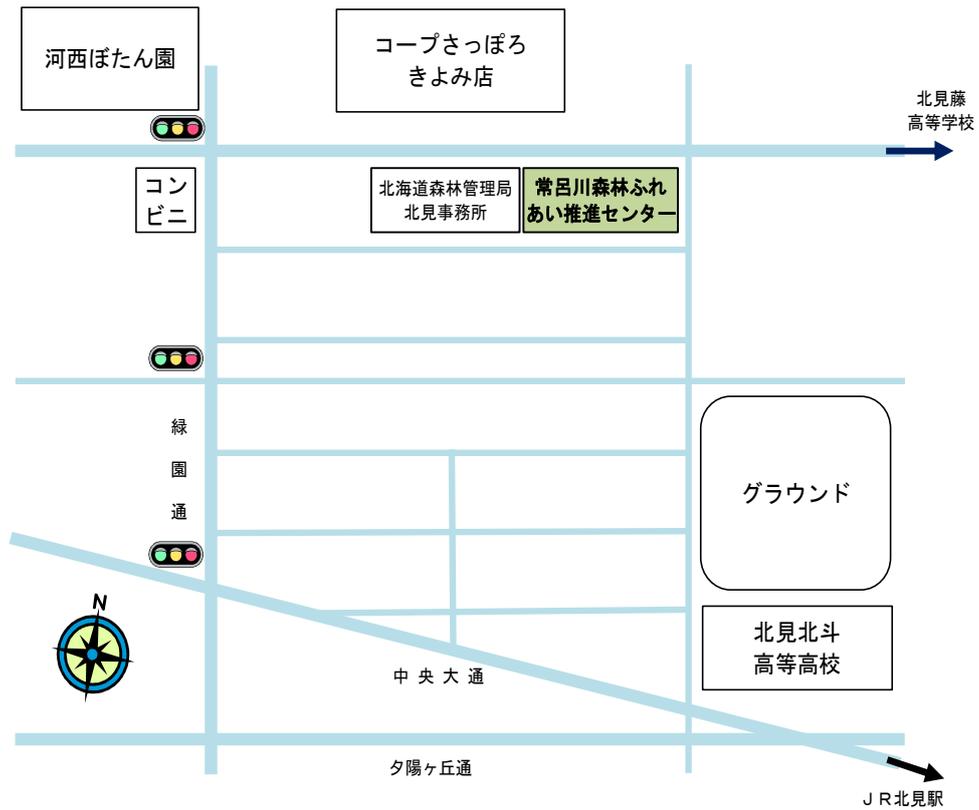
活動区域「オホーツクの森」



この案内図と、現地交差点にある道標の丸数字は、位置が合致しており、現在地の確認に便利です。

区 間 距 離		凡 例
—	赤色ルート(①～⑩) 23.1km	古の森 —
—	青色ルート(⑥～⑨) 7.9km	主要道路 —
—	緑色ルート(④～⑳) 6.9km	その他道路 ---
—	黄色ルート(㉑～㉓) 7.9km	オホーツクの森 入口指す標 ●
—	桃色ルート(⑥～⑫) 1.3km	道路案内図 ○
⋯	自然再生モデル林ルート (⑤-④①-④②-④③) 2.3km	位置番号 ○
—	環境教育実践コース (④～④①) 2.6km	

センター所在地



林野庁 北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター

〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11の3

【TEL】0157-23-2960

【MAIL】h_tokoro_f@maff.go.jp



表紙：白樺十字園の一コマ